

令和 06 年度		調 査	
西江川沢緊急自然災害防止対策工事		設 計 書	
工 事 番 号		施 工 地	
R6阿建緊災河第1-001号		東蒲原郡阿賀町西地内	
	実 施 ・ 元	変 更	
設 計 額	円	円	
契 約 額 (内消費税額)	( 円 )	( 円 )	
工事・履行日数	工事日数 110 日間 又は 完成期限 年 月 日	日間(付与日数 日間) 完成期限 年 月 日	
実 施 (元) 設計概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土 工 1 式</li> <li>・側溝工 L=6 2 m (BFB1000×1000)</li> <li>・仮設工 1 式</li> </ul>	変 更  設計概要	

## 設計図書における利用コード一覧表

設計図書における本工事費内訳表および施工内訳表などに記載のあるデータコードは下記のとおりとなっています。

※データコード中の“x”は任意の半角英数字（xの数も任意）、“n”は任意の半角数値です。

### 1 単価コード

・単価コードにおいて新潟県土木工事等基礎（公表）単価表に掲載のある単価については、コードが対応しています。（その他以外）

労務単価	Rxxxxxxxxx	RRxxxxxxxx	TRxxxxxxxx					
資材単価	TZxxxxxxxx	Txxxxxxxxx	TTxxxxxxxx	TVJxxxxxxxx	TRxxxxxxxx	TMNxxxxxxxx	TNxxxxxxxx	TZPxxxxxxxx
機械・仮設材の賃料・損料	TLxxxxxxxx	Kxxxxxxxxx	KExxxxxxxx	TMxxxxxxxx	TZUxxxxxxxx	Mxxxxxxxxx	MMxxxxxxxx	
市場単価	TAxxxxxxxx	TBxxxxxxxx	TCxxxxxxxx	TDxxxxxxxx	TGxxxxxxxx	TQxxxxxxxx		
その他	T9999001~T9999099※		Fxxxxxxxxx	Wxxxxxxxxx※	TFJAxxxxxx※	TYxxxxxxxx※		
東京単価	RR9xxxxxxxx	TZ09xxxxxxxx	TZP9xxxxxxxx	TL09xxxxxxxx	MM09xxxxxxxx	TQ09xxxxxxxx		

その他のものは単価等を個別に設定しており、新潟県土木工事等基礎（公表）単価表から単価を引用している場合もあります。

※は同一コードでも異なる単価が入力されている場合があります。詳細は入札資料を参照してください。

### 2 施工コード

①下表のコードは各積算基準の施工コード一覧表と対応しています。 ※

積算基準〔1 県版〕	Sxxxxxxxxx	SCBSxxxxxxxx
積算基準〔2 調査関係〕	SAxxxxxxxx	SBxxxxxxxx
	SCxxxxxxxx	SDxxxxxxxx
積算基準〔3 港湾〕	SDHxxxxxxxx	SExxxxxxxx
	SSHxxxxxxxx	
積算基準〔4 下水道〕	SWGxxxxxxxx	

②下表のコードは積算基準での表記と異なります。 ※

積算基準名	設計図書コード	積算基準の表記
積算基準〔1 一般土木〕全国版	SWBxxxxxxxx	WBxxxxxxxx
	SCBxxxxxxxx	CBxxxxxxxx
積算基準〔4 公園緑地〕	SWCxxxxxxxx	WCxxxxxxxx
積算基準〔6 機械・電気通信〕	SWExxxxxxxxx	WExxxxxxxx
積算基準〔5 建設機械損料表〕	MMJxxxxxxxx	Kxxxxxxxx

※①・②記載のパッケージコードについて修正している場合があります。詳細については、6 パッケージコードの修正についてを参照してください。

③下表のコードは個別の案件で設定

名称、単価、単位等を設定	S0900※	S0901※	SE918※	
名称、労務数量等を設定	SA901※	SA902※	SA910※	SC900※
全ての歩掛を独自設定	Vxxxxxxxxx			

※同一コードでも異なる歩掛を設定している場合もあります。

### 3 機械運転単価コード

各施工歩掛内で使用しています。内訳については帳票の量が多くなるため出力していませんので、積算基準を確認してください。  
積算基準の機械運転単価表に記載のある「機-〇〇」は、積算基準〔1 一般土木〕県版に適用単価表が記載されています。

SWKxxxxxxxx	積算基準において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。
SWMxxxxxxxx	積算基準〔4 下水道〕において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。
SKxxxxxxxx	運転労務数量、燃料消費量を積算基準〔5 建設機械損料〕により決定します。ただし、条件を個別設定する場合があります。
SDHTxxxxxxxx (SZxxxx)	積算基準〔3 港湾〕において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。

### 4 その他コード

#0n	所定の率で雑材料の経費を計上しています。
#7n	単位数量当り単価の合計金額が有効数字4桁になるように所定の率以内で諸雑費計上する処理を行っています。
#80	単位数量当り単価の合計金額が有効数字4桁になるように端数を計上する処理を行っています。
+00	施工コードにおいて歩掛全体を割増す場合に用いるコードです。
Xn000	工事の場合は本工事、附帯工事、補償工事などの費目コード、委託の場合は測量、調査、設計などの業務コードです。nは1~4。
Ynxxxxxxxx	新土木工事積算体系における工事工種のコードです。nは1~4工種レベル、zの場合は共通仮設工種。
Zxxxx	共通仮設費、現場管理費、一般管理費のコードです。
管理費区分	「0 省略」は設定無し、「1 桁等購入費」、「5 鋼橋門扉等工場原価」、「T 処分費」等は積算基準〔1 一般土木〕県版を参照してください。「N 直接人件費」、「N1 直接人件費(電子対象外)」については、7 業務委託の管理費区分を参照してください。

5 単価入力データ一覧表について

以下の①～⑤単価コードについては単価入力データ一覧表に関連情報※が記載されています。

同一コードでも異なる単価が入力されている場合がありますので、詳細は入札資料を参照してください。

- ①本表 1 単価コードのその他に記載されている単価コード。
- ②単価コードに単価値が設定されておらず、積算者が単価を逐次入力した単価コード。
- ③代表機労材規格および名称・規格の記載内容を修正（変更、追記）した単価コード。
- ④パッケージコード※において積算地区の代表機労材規格を減額処理した単価コード。
- ⑤パッケージコード※において積算地区の代表機労材規格を置換えした単価コード。

※関連情報とは、対象となる単価コードとその名称と単位、および、対象コードを使用している本工事費内訳表に記載のコード、名称、番号です。

※パッケージコードとは施工コードのSCBXXXXXXXX, SCBSXXXXXXXX, SSHXXXXXXXXのことです。

6 パッケージコードの修正について

単価入力データ一覧表に記載されている単価コードを含むパッケージコードは修正となります。

修正した箇所には、施工内訳表の積算地区の代表機労材規格の項目（例：Z1t'）に「修正」と記載されます。

詳細については施工内訳表および単価入力データ一覧表を参照してください。

※本表 5 の①～③に該当する単価コードであっても、施工条件の入力により単価値、名称、規格が変更された代表機労材規格は対象外です。

※本表 5 の④の修正単価については、単価入力データ一覧表金額欄に「\*減額処理\*」と記載されます。

※本表 5 の⑤の修正単価については、単価入力データ一覧表金額欄に「\*単価置換\*」と記載されます。

7 業務委託の管理費区分

「N 直接人件費」は測量業務諸経費体系および設計業務諸経費体系での直接人件費を示します。詳細は積算基準〔2 調査関係〕を参照してください。  
 「N1 直接人件費(電子対象外)」は、電子成果品作成費を除く、全ての諸経費を対象とする費用です。

8 業務委託における電子成果品作成費の計上について

「総括情報表」記載の「電子成果品作成費計上」選択項目による、業務区分ごとの電子成果品作成費の計上方法は以下のとおりとなります。  
 詳細は積算基準〔2 調査関係〕を参照してください。

↓選択項目 \ 業務区分→	測量業務委託	一般調査業務	設計業務委託
00設計業務に率計上しない	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	—
01詳細設計業務に率計上	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	概略設計、予備設計又は詳細設計
02その他の設計業務に率計上	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	その他の設計業務
05率計上しない	—	—	—

9 パッケージコードにおける、標準単価及び東京単価適用日について

パッケージコードにおける、標準単価及び東京単価適用日については、単価適用日の「新潟県土木工事等基礎（公表）単価表」に記載の、新潟県土木工事等基礎（公表）単価表について、2. 掲載内容を参照してください。

## \*\*本工事費\*\* 工事数量総括表

仮設工における規格・数量は他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
<b>** 本工事費 **</b>					
河川修繕		式			
排水構造物工		式			
作業土工		式			
掘削		一式			
床掘り		m3		70	
埋戻し		一式			
埋戻し		m3		80	
埋戻土(不足土)購入費		m3		10	
基面整正		一式			
基面整正		m2		71	
側溝工		式			
プレキャストBFB側溝		一式			
ベンチフレーム(標準設計)		m		62	
仮設工		式			
工事用道路工		式			
仮設道路工		一式			
敷鉄板設置・撤去		m2		207	

敷鉄板賃料		枚		46	
土留・仮締切工		式			
土のう		一式			
土のう工		袋		20	
直接工事費					
運搬費		式			
仮設材等の積込み取卸し費		t		36.9	
仮設材等の運搬		t		36.9	
共通仮設費（率分）					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費（率分）					
現場管理費計					
工事原価					
工事原価計					
一般管理費等					
契約保証費					
一般管理費等計					

工事価格						
消費税相当額						
工事費						



# 総括情報表

設計書名 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系	実施設計書  1 実施単価 25 津川① 0-06.05.20(0) 1-06.05.20(0)  1 一般土木	
	当 世 代	前 世 代
工種区分 施工地域区分 現場環境改善費 前払率 契約保証に係る保証 消費税率 労務単価の補正率 週休2日補正の有無 ICT3D出来形・納品補正 小型車補正	02 河川・道路構造物 11 補正なし 00 なし 40 40% 01 金銭的保証 04 10% 21 0%:補正なし 08 ありR3.10(4週8休以上) 00 なし(R02.10.20~) 00 小型車補正なし	

工事番号	_____
工事名	_____
商号又は名称・代表者名	_____
住所	_____
内容について説明できる者の氏名	_____
その者の電話番号	_____

※本ファイルを工事費内訳書として提出する場合、左の欄も忘れずに入力してください。

### \*\* 本工事費 \*\* 内訳表

費目・工種・施工名称・管理費区分	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
** 本工事費 **					X1000
河川修繕					Y1000000032
排水構造物工		式			Y2000000296
作業土工		式			Y3000001873
掘削 土質:土砂		式			Y4000023341
掘削 床掘り		一式			SCB210030
埋戻し 0 省略	70	m3			施工 第0-0001号内訳表
埋戻し 土質区分:土砂,土質:		一式			Y4000023343
埋戻し 0 省略	80	m3			SCB210410 施工 第0-0002号内訳表
埋戻し(不足土)購入費 釣浜産					V0001
埋戻し 0 省略	10	m3			施工 第0-0003号内訳表

基面修正				一式		Y4000023344
基面修正						SCB210080
0 省略		71	m2			施工 第0-0006号内訳表
側溝工				式		Y3000001874
プレキャストBFB側溝 側溝規格:1000型				一式		Y4000007933
ベンチフレーム(標準設計) BFB-1000 1000×1000×2000		62	m			S8050
0 省略						施工 第0-0007号内訳表
仮設工						Y2000000318
工事用道路工				式		Y3000001964
仮設道路工						Y4000023678
0 省略				一式		
敷鉄板設置・撤去 22×1524×3048						SWB253610
0 省略		207	m2			施工 第0-0008号内訳表
敷鉄板賃料 22×1524×3048						SWB253630
0 省略		46	枚			施工 第0-0009号内訳表
土留・仮締切工						Y3000001967
土のう				式		
						Y4000008308
土のう工 仕拵・積立・撤去				一式		SWB252610
0 省略		20	袋			施工 第0-0010号内訳表
直接工事費						

運搬費						Z0002
	仮設材等の積込み取卸し費 敷き鉄板 積込み、取卸し(往復分)		式			SWB010030
	0 省略	36.9	t			施工 第0-0011号内訳表
	仮設材等の運搬 津川地区振興事務所～					SWB010020
	(鋼矢板、H形鋼、 0 省略	36.9	t			施工 第0-0012号内訳表
共通仮設費 (率分)						
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費 (率分)						
現場管理費計						
工事原価						
工事原価計						
一般管理費等						
契約保証費						
一般管理費等計						
工事価格						

消費税相当額						
二事費						

埋戻土（不足土）購入費  
釣浜産

V0001

# 施工内訳表

施工 第0-0003号内訳表

06年05月20日適用

名称・規格など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考	・	管	理	費	区	分	
真砂土（釣浜産）	10		m	3					S0901								施工 第0-0004号内訳表
										0							省略
土砂等運搬	10		m	3					SCB210110								施工 第0-0005号内訳表
										0							省略
計	10		m	3													
小計	1		m	3													



ベンチリウム(標準設計)

BFB-1000 1000×1000×2000

S8050

# 施工内訳表

施工 第0-0007号内訳表

06年05月20日適用

10 m 当り

名称・規格など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考	・	管	理	費	区	分
U型側溝 昼間 L2000 2000kg以下 制約無	10.000		m						TQJ1365004							
									0	省略						
ベンチリウム改良型 (BFB) 1000×1000×2000	5.000		本						TN8605							
クラッシャーレン 40mm	1.440		m <sup>3</sup>						TZJ2120003							
諸雑費(まるめ)	1.00		式						#80							
計	10		m													
小計	1		m													
ベンチリウム種類	=34		BFB-1000													
夜間作業補正	=2		無													
施工箇所による補正	=1		無													
作業区分	=1		据付け													
時間的制約の有無	=3		無し													
基礎材の種類	=1		クラッシャーレン 40～0													



敷鉄板設置・撤去  
22×1524×3048

# SWB253610 施工内訳表

施工 第0-0008号内訳表  
06年05月20日適用  
100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考・管理費区分
土木一般世話役		人			RR0125 1 0 省略
とび工		人			RR0106 1 0 省略
普通作業員		人			RR0102 1 0 省略
バックホウ(クローラ型)運転		日			SWK250590 1 0 省略
諸雑費(率+まるめ)		%			#71 0 省略
計	100	m2			
小計	1	m2			
作業区分	=3	設置・撤去			

敷鉄板賃料  
22×1524×3048

# SWB253630 施工内訳表

施工 第0-0009号内訳表  
06年05月20日適用  
1 枚 当り

名称・規格など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考 ・ 管 理 費 区 分
敷鉄板賃料 90日以内	60.000	枚・日			TFJA0504494 1 0 省略
諸雑費(まるめ)	1.00	式			#80 0 省略
小計	1	枚			
敷鉄板の種類	=2	22×1,524×3,048(mm)			
不足分弁償金の有無	=1	無			
供用日数(日)(実数入力)	[日]=60	供用日数(日)(実数入力)		[日]	
整備費の有無	=1	無			

土のう工  
仕拵・積立・撤去

# SWB252610 施工内訳表

施工 第0-0010号内訳表  
06年05月20日適用  
100 袋 当り

名称・規格など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考 ・ 管 理 費 区 分
購入土 釣浜 真砂土	2.000	m3			TFJA0504484 1 0 省略
普通作業員		人			RR0102 1 0 省略
土のう 62×48cm	100.000	袋			TZJ6082001 1 0 省略
諸雑費(まるめ)	1.00	式			#80 0 省略
計	100	袋			
小計	1	袋			
作業内容	=1	仕拵・積立・撤去			



仮設材等の運搬  
津川地区振興事務所～

# SWB010020 施工内訳表

施工 第0-0012号内訳表  
06年05月20日適用

(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考・管理費区分
基本運賃区分 製品長12m以内 10kmまで	1.000	t			TZJ6810101 1 0 省略
諸雑費(まるめ)	1.00	式			#80 0 省略
小計	1	t			
発注機関区分 片道運搬距離(実数入力)	=2 [km]=1	北海道・東北・北陸・中・四国・九州			
製品長区分	=1	片道運搬距離(実数入力)		[km]	
運搬割増率	=4	12m以内			
運搬割増率(実数入力)	=0	各種(実数入力)			
その他の諸料金の有無	=2	運搬割増率(実数入力)			
		無			

SCB210030

# 施工内訳表

施工 第0-0001号内訳表

1 m3 当り

機械構成比: 20.81% 労務構成比: 71.39% 材料構成比: 7.80% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 2,046.8

代表機材規格	構成比	単価(津川①)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
K1t' バックホウ(クロー) [後方超小旋回型] 排ガス型(第2次) 山積0.28m3	20.81%	円/供用日	バックホウ(クロー) [後方超小旋回型] 排ガス型(第2次) 山積0.28m3		MMJ0202096 MM090202096
R1t' 運転手(特殊)	38.71%	円/人	運転手(特殊)		RR0114 RR9114
R2t' 普通作業員	32.68%	円/人	普通作業員		RR0102 RR9102
Z1t' 軽油	7.80%	円/L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
積算単価			積算単価		EP001
土質 施工方法 費用の内訳	=1 =5 =1	土砂 上記以外(小規模) 全ての費用			
【補正式】 P' = P					
[機械補正]	$\times \left\{ \left[ \frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} \right] \times \frac{Kr}{K1r} \right\}$				
[労務補正]	$+ \left[ \frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \frac{R2r}{100} \times \frac{R2t'}{R2t} \right] \times \frac{Rr}{R1r + R2r}$				
[材料補正]	$+ \left[ \frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} \right] \times \frac{Zr}{Z1r}$				
[全体調整]	$+ \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100}$				

埋戻し

単価適用日/適用基準日 06年05月20日適用

SCB210410

# 施工内訳表

施工 第0-0002号内訳表

1 m3 当り

機械構成比: 9.91% 労務構成比: 85.67% 材料構成比: 4.42% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 3,655.5

代表機材規格		構成比	単価(津川①)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
K1t	バックホウ(クロー) [後方超小旋回型] 排ガス型(第2次) 山積0.28m3	9.30%	円/供用日	バックホウ(クロー) [後方超小旋回型] 排ガス型(第2次) 山積0.28m3		MMJ0202096 MM090202096
K2t	ランマ 質量60~80kg	0.61%	円/供用日	ランマ 質量60~80kg		MMJ0806001 MM090806001
R1t	普通作業員	48.83%	円/人	普通作業員		RR0102 RR9102
R2t	特殊作業員	19.54%	円/人	特殊作業員		RR0101 RR9101
R3t	運転手(特殊)	17.30%	円/人	運転手(特殊)		RR0114 RR9114
Z1t	軽油	3.49%	円/L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
Z2t	ガソリン レギュラー	0.93%	円/L	ガソリン レギュラー		TZJ6704001 TZ096704001
積算単価				積算単価		EP001
施工方法		=5	上記以外(小規模)			
土質		=1	土砂			
費用の内訳		=1	全ての費用			
【補正式】 P' = P						
[機械補正]						
$\times \left\{ \left[ \frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} + \frac{K2r}{100} \times \frac{K2t'}{K2t} \right] \times \frac{Kr}{K1r + K2r} \right.$						
[労務補正]						
$+ \left[ \frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \frac{R2r}{100} \times \frac{R2t'}{R2t} + \frac{R3r}{100} \times \frac{R3t'}{R3t} \right] \times \frac{Rr}{R1r + R2r + R3r}$						

06-実施-一般-0002-当初





SCB210110

# 施工内訳表

施工 第0-0005号内訳表

1 m3 当り

機械構成比: 25.13% 労務構成比: 61.92% 材料構成比: 12.95% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 3,749.2

代表機材規格	構成比	単価(津川①)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
K1t' ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)	25.13%	円/供用日	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)		MPM03010020 MPM93010020
R1t' 運転手(一般)	61.92%	円/人	運転手(一般)		RR0115 RR9115
Z1t' 軽油	12.95%	円/L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
積算単価			積算単価		EP001
土砂等発生現場 積込機種・規格 土質	=2 =5 =1	小規模 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む)			
DID区間の有無 運搬距離(km)(DID区間無)	=1 =12	無し 19.0km以下			
<b>【補正式】</b> P' = P					
[機械補正]	$\times \left\{ \left[ \frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} \right] \times \frac{Kr}{K1r} \right.$				
[労務補正]	$\left. + \left[ \frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} \right] \times \frac{Rr}{R1r} \right.$				
[材料補正]	$\left. + \left[ \frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} \right] \times \frac{Zr}{Z1r} \right.$				
[全体調整]	$\left. + \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100} \right\}$				



## 単価入力データ一覧表①

上位 コード	上位名称	第番号	単価 コード	単価名称 規格 1, 規格 2, 摘要名称	単位	金額
V0001	埋戻土（不足土）購入費	第0-0003号	T9999010	単位当り金額	式	

## 単価入力データ一覧表②

上位 コード	上位名称	第番号	単価 コード	単価名称 規格 1, 規格 2, 摘要名称	単位	金額
SWB253630	敷鉄板賃料	第0-0009号	TFJA0504494	敷鉄板賃料 90日以内	枚・日	
SWB252610	土のう工	第0-0010号	TFJA0504484	購入土 釣浜 真砂土	m3	

## 施 工 条 件 総 括 表

下記項目、事項のうち○印欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。  
 なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者（町）と協議し、適切な措置を講ずるものとする。

明 示 項 目	施 工 条 件
1 工 程 関 係	1. 関連する別途発注工事 （ <input type="checkbox"/> あり ・ <input type="checkbox"/> なし ） ・ 工 事 名： ・ 予 定 期 間：
	2. 施工時期、時間、方法の制限 （ <input type="checkbox"/> あり ・ <input type="checkbox"/> なし ） ・ 時 期： ・ 時 間： ・ 方 法：
	3. 関係機関協議による工程条件 （ <input type="checkbox"/> あり ・ <input type="checkbox"/> なし ） ・ 協 議 内 容： ・ 完 了 予 定 時 期：
	4. そ の 他
2 用 地 関 係	1. 工事用地等の未処理部分 ( <del>あり</del> ・ <input type="checkbox"/> なし ) ・ 処 理 見 込 時 期： ・ 区 間：
	2. 仮設ヤードの指定 （ <input type="checkbox"/> あり ・ <input type="checkbox"/> なし ） ・ 場 所： ・ 期 間：
	3. そ の 他
3 公 害 対 策 関 係	1. 公害防止の制限（騒音・振動、排出ガス、粉じん、水質等） （ <input type="checkbox"/> あり ・ <input type="checkbox"/> なし ） ・ 施 工 方 法： ・ 作 業 時 間：
	2. 家屋等の調査の必要性 （ <input type="checkbox"/> あり ・ <input type="checkbox"/> なし ） ・ 方 法： ・ 範 囲：
	3. そ の 他

明示項目	施 工 条 件
4 安全対策 関 係	<p>1. 交通安全施設等の指定 (—あり・なし)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通誘導員：</li> <li>・ その他施設等：</li> </ul> <p>2. 近接作業制限（鉄道、ガス、水道、電気、電話等）（あり・なし）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内 容：</li> <li>・ 工 法 制 限：</li> <li>・ 作 業 時 間 制 限：</li> </ul> <p>3. 発破作業（あり・なし）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保安設備及び保安要員：</li> <li>・ 防 護 工：</li> <li>・ 作 業 時 間 制 限：</li> </ul> <p>4. 防護施設（落石、雪崩、土砂崩落等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内 容：</li> </ul> <p>5. そ の 他</p>
5 工事用道路 関 係	<p>1. 一般道路を搬入路としての使用制限（あり・なし）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 搬 入 経 路：</li> <li>・ 期 間：</li> <li>・ 使用後の処置：</li> </ul> <p>2. 一般道路の占用（あり・なし）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期 間：</li> <li>・ 規 制 条 件：</li> <li>・ 時 間 制 限：</li> </ul> <p>3. 仮設道路設置（あり・なし）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工法指定の有無：なし</li> <li>・ 用 地 関 係：関係者と要協議</li> <li>・ 安 全 施 設：無</li> <li>・ 工事完了後の「存置」または「撤去」：撤去</li> </ul> <p>4. そ の 他</p>
6 仮 設 備 関 係	<p>1. 仮設備の指定（あり—・なし）</p> <p>2. 仮設備の条件指定 (—あり・なし)</p>

明示項目	施工条件
6 仮設関係	3. 仮設構造物の転用、兼用 (あり・なし) ・ 工 種 : ・ 内 容 : 4. イメージアップ (あり・なし) ・ 内 容 : 5. その他
7 残土・産業廃棄物関係	別紙「建設副産物特記仕様書」のとおり 発生する建設残土は指定する処分場へ搬出すること
8 工事支障物件等	1. 占用支障物件あり(電気、電話、水道、ガス等) (あり・なし) ・ 内 容 : ・ 移設、撤去、防護方法等 : ・ 時 期 : 2. 占用物件重複施工 (あり・なし) ・ 内 容 : 3. その他
9 排水工 (濁水処理含む)	1. 濁水、湧水処理等の特別な対策 (あり・なし) ・ 内 容 :
10 薬液注入関係	1. 薬液注入工法 (あり・なし) 別紙条件明示による
11 その他	1. 現場発生材 (あり・なし) ・ 品 名 : ・ 納 入 場 所 : 2. 支給品及び貸与品 (あり・なし) ・ 品 名 : ・ 引 渡 場 所 : 3. 品質証明の必要 (あり・なし) 標準仕様書第1編(章)1-1-25による 4. その他

明示項目	施工条件				
12 排出ガス対策型建設機械及び低騒音建設機械	<p>1. 排出ガス対策型建設機械</p> <p>本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3年10月8日付建設省経機発第249号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着（黒煙浄化装置付）することで、排出ガス対策型建設機械と同等とみなす。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。</p> <p>排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。</p> <table border="1" data-bbox="450 571 2004 1058"> <thead> <tr> <th data-bbox="450 571 1556 609">機 種</th> <th data-bbox="1556 571 2004 609">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="450 609 1556 1058">           一般工事用建設機械            ・バックホウ            ・トラクタショベル（車輪式）            ・ブルドーザ・発動発電機（可搬式）            ・空気圧縮機（可搬式）            ・油圧ユニット            以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの            { 油圧ハンマ、パイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機 }            ・ロードローラ、タイヤローラ・振動ローラ            ・ホイールクレーン         </td> <td data-bbox="1556 609 2004 1058">           ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。         </td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 低騒音建設機械</p> <p>本工事において「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」（昭和62年3月30日建設省経機発第58号）に基づき低騒音型建設機械の使用が原則となる場合は、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成9年建設省告示第1536号）に基づき指定された低騒音型建設機械を使用するものとする。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出するものとする。</p> <p>低騒音型建設機械を使用する場合、請負者は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。</p>	機 種	備 考	一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの { 油圧ハンマ、パイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機 } ・ロードローラ、タイヤローラ・振動ローラ ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。
機 種	備 考				
一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの { 油圧ハンマ、パイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機 } ・ロードローラ、タイヤローラ・振動ローラ ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。				
13 施工方法等	<p>・施工条件総括表、図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書に特別に定める場合を除き、仮設、施工方法その他工事目的物を完成するために必要な手段は、請負者の責任において定める。（建設工事請負基準約款1条第3項による）</p>				



## 建設副産物特記仕様書

### 1. 再生資材の利用

下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再生資材名	規格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備考
		該当なし		

### 2. 建設発生土の利用

盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発注機関	工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備考
		該当なし		

### 3. 建設発生土の搬出

工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。

受入工事名／施設名称			
工事場所／施設所在地			
連絡先		該当なし	
受入時間			
受入費用			
仮置場所の有無			
備考			

### 4. 建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとし積算している。

搬出する廃棄物名	無筋コンクリート殻	鉄筋コンクリート殻	二次製品	アスファルト殻
処理施設名称				
施設所在地				
連絡先		該当なし		
受入時間				
受入費用				
備考				

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、請負者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

5. 建設リサイクル法の対象工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。

6. 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。

### 7. 協議について

建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに発注者に報告し、協議すること。

「週休2日取得モデル工事（現場閉所型）」（令和6年6月試行）  
発注者指定型 特記仕様書

本工事は、「週休2日取得モデル工事（現場閉所型）」（令和6年6月試行）発注者指定型の施行対象案件である。

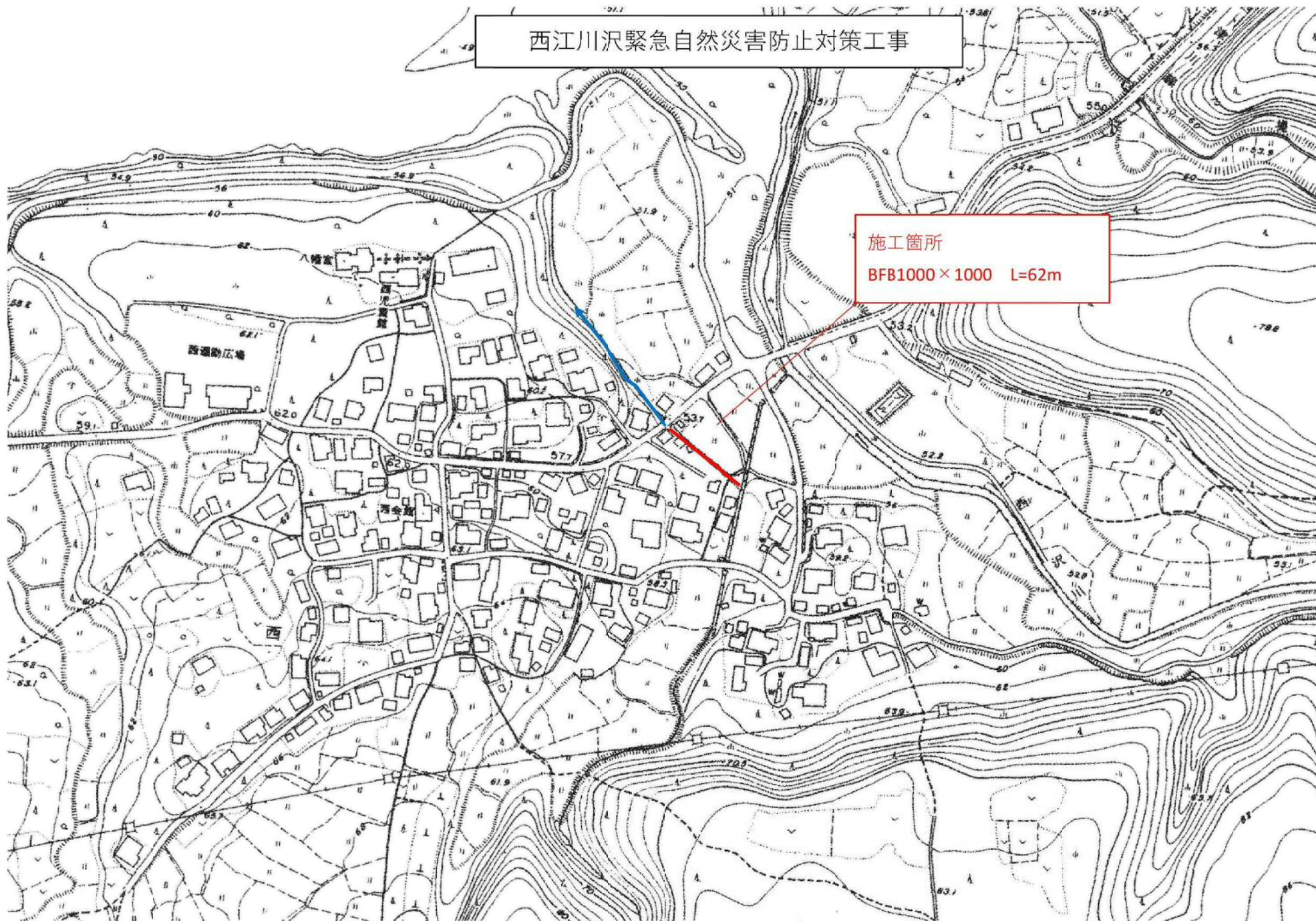
本工事は、週休2日達成時（4週8休相当以上）の標準単価を計上すると共に、該当の補正係数を労務費・機械経費（賃料）・市場単価・間接工事費率に乗じて予定価格を算出し、発注している。

試行は、阿賀町「週休2日取得モデル工事（現場閉所型）」（令和6年6月試行）実施要領に基づき行う。

西江川沢緊急自然災害防止対策工事

施工箇所

BFB1000×1000 L=62m



西江川沢改修工事 標準断面図 (西区地内)

